

国立国語研究所学術情報リポジトリ

バントゥ諸語（アフリカ）から日本の言語・方言の
アクセントを捉え直す

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-08-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 青井, 隼人 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003611

バントゥ諸語（アフリカ）から 日本の言語・方言のアクセントを捉え直す



多良間島方言の声調

ピッチ変動の有無と位置によって

3つの音調型が区別される。

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

下降ボタン

上昇ボタン

1 *madu=mai* *madumai* *madumai*
暇=も

2 *jadu=mai* *jadumai* *jadumai*
戸=も

0 *juda=mai* *judamai* *judamai*
枝=も

アフリカでは2つの声調の対立 [H] vs. [L] が
しばしば /H/ vs. /φ/ の対立で解釈される

欠性的対立 PRIVATIVE OPPOSITION

多良間島方言の3つの音調型はPWd末の
/L/ の有無と位置による区別と解釈できる

音声的対立

音韻的対立

言語例

[H] vs. [L]

/H/ vs. /φ/

ソマリ語
(アフロ・アジア語族)

[H] vs. [L]

/φ/ vs. /L/

ルウンド語
(バントゥ諸語)

[H] vs. [L]

/H/ vs. /L/ vs. /φ/

ナンデ語
(バントゥ諸語)

Hyman (2001) Privative tone in Bantu, *Cross-linguistic studies of tonal phenomena*, ed. by Kaji Shigeki, 237-257, ILCAA.

1つ目の韻律語の
末尾モーラに /L/

L1

madu=mai
暇=も

2つ目の韻律語の
末尾モーラに /L/

L2

jadu=mai
戸=も

/L/ なし (= /φ/)

L0

juda=mai
枝=も

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

ツォンガ語 (バントゥ諸語) の /H/ は形態素境界を
越えて右に拡張していく

音調の移動 TONAL MOBILITY

多良間島方言の /L/ は句境界を越えて
右の無指定のモーラに拡張していく

h-a#xaviselan-a 'we are selling to e.o.'

vá-a#xávísélán-a 'they are selling to e.o.'

句末の母音には拡張しない (Nonfinality)

Kisseberth, Charles and David Odden. 2003. *Tone. The Bantu Languages*, ed. By Derek Nurse and Gerard Philippson, 59-70, Routledge.

ツォンガ語 (バントゥ諸語) の /H/ 拡張は
別の /H/ によってブロックされる

必異原理 OBLIGATORY CONTOUR PRINCIPLE

多良間島方言では /L/ が連続した場合、
拡張は止まり、右側の /L/ が削除される

ndzi#vóná xí#hlámbétwána 'I see a cooking pot.'

ma#tandzá 'eggs' の /H/ に
よって拡張がブロックされる

ndzi#vóná má#tandzá 'I see eggs.'

Kisseberth, Charles and David Odden. 2003. *Tone. The Bantu Languages*, ed. By Derek Nurse and Gerard Philippson, 59-70, Routledge.

L1

adañ+kii=mai
アダン+木=も

L0

kuba+kii=mai
ビロウ+木=も

adan+kii=mai kuba+kii=mai
/L/ は右に拡張される

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

L1

adañ+kii=mai
アダン+木=も

L2

mami+kii=mai
豆+木=も

adan+kii=mai mami+kii=mai
右側の /L/ は削除される

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.